

眼 科 学

教授 窪田 靖夫
助教授 中村 泰久
講師 山田 祐司
助手 開 繁義
助手 山下 泉
助手 大角 智寿子
助手 石田 俊郎
助手 田中 良則
助手 桶本 忠司
助手 尾崎 真由美
助手 山田 成明
文部技官 氷見 由美子

◆ 著 書

1) 窪田靖夫：薬物による網膜変性，「網膜脈絡膜の変性疾患」眼科 MOOK，窪田靖夫編，26：212—217，金原出版，1985。

2) 窪田靖夫，窪田叔子，松田健史：網膜芽細胞腫。「遺伝性疾患への対応」大倉興司編，280—281，講談社，1985。

3) 中村泰久：眼瞼裂傷。「図説臨床眼科講座，7巻，眼の救急医療」中島 章他編，80—85，メジカルビュー社，1985。

4) 中村泰久：涙器裂傷。「図説臨床眼科講座，7巻，眼の救急医療」中島 章他編，86—91，メジカルビュー社，1985。

◆ 原 著

1) 窪田靖夫：ERG の律動様小波とその臨床応用。日本の眼科 56：829—830，1985。

2) 窪田靖夫，窪田叔子，田畑 晃：富山医科薬科大学眼科における網膜色素変性症患者の統計的検査。眼科臨床医報，79：392—395，1985。

3) 窪田靖夫：色覚異常者の交通信号灯色光の識別について。眼科臨床医報 79：1502—1504，1985。

4) 窪田叔子，窪田靖夫：視覚障害者としての先天白内障児童の調査結果について。眼科臨床医報 79：2205—2208，1985。

5) 窪田叔子，窪田靖夫，松田健史：小眼球症に関する統計的研究。眼科臨床医報 79：2230—2233，1985。

6) 窪田叔子，窪田靖夫，松田健史：全身合併症を伴う先天白内障児童の染色体検査成績について。眼科臨床医報 79：2234—2237，1985。

7) 開 繁義，山田祐司，中村泰久：眼組織中の還元型グルタチオンの高速液体クロマトグラフィー

(蛍光検出法)による定量法。あたらしい眼科 2：294—298，1985。

8) 開 繁義，山田祐司，栗原秀行，中村泰久：高速液体クロマトグラフィーによる抗生剤のヒト眼房水内移行に関する研究。日本眼科紀要 36：196—205，1985。

9) 開 繁義，石田俊郎，山田祐司，中村泰久：涙液グルタチオンの分析に関する研究。あたらしい眼科 2：990—993，1985。

10) 石田俊郎，山田祐司，大橋弘美，窪田叔子：網膜剝離手術後に発病した交感性眼炎の1例。眼科 27：183—186，1985。

11) 石田俊郎，山田祐司，森蔭俊彦：結節性多発動脈炎と思われる症例にみられた網膜血管病変。日本眼球紀要 36：596—600，1985。

12) 石田俊郎，中村泰久，熊谷道朝：涙道閉塞症例の涙道内CT像。臨床眼科 39：878—881，1985。

13) 石田俊郎，開 繁義，山田祐司，中村泰久：抗生剤（CTM）の涙液内移行濃度—採取法による差異一。あたらしい眼科 2：1130—1132，1985。

14) 田中良則，中屋 博，山田祐司，中村泰久：緑内障患者における0.5% Timolol 点眼液から0.5% Befunolol 点眼液への変更に伴う治療成績。日本眼科紀要 36：741—745，1985。

15) 山本文昭，桶本忠司，窪田靖夫：視覚性誘発電位の衝動性眼球運動による増強—実験装置と実験法について—。日本眼科紀要 36：286—290，1985。

16) 山本文昭，桶本忠司，窪田靖夫：衝動性眼球運動誘導指標に対する誘発脳波—予告ブザーの影響—。日本眼科学会雑誌 89：528—534，1985。

17) 山本文昭，山田成明，窪田靖夫：衝動性眼球運動誘導指標に対する誘発脳波—指標位置の影響—。日本眼科学会雑誌 89：1052—1058，1985。

◆ 学会報告

1) 窪田靖夫，窪田叔子：北陸地方における失明原因に関する統計的検討。第39回北陸医学会眼科分科会，1985，9，福井。

2) 窪田靖夫：北陸地方における失明原因，とくに先天性眼疾患について。第39回日本臨床眼科学会，1985，9，新潟。

3) 窪田靖夫：心因性視覚障害の2例。第29回富山医業大眼科臨床カンファレンス，1985，10，富山。

4) 窪田靖夫：シンポジウム「眼科専門医教育・大学院博士課程と眼科専門医教育。第51回日本中部眼科学会，1985，11，倉敷。

5) 窪田靖夫，大角智寿子：当科における眼内異物の統計。第27回交通眼科学会，1985，12，小倉。

6) 窪田靖夫, 窪田叔子: 北陸地方における失明原因, とくに先天性眼疾患について. 北陸先天異常研究会第6回学術集会, 1985, 12, 富山.

7) 窪田叔子, 窪田靖夫, 松田健史: 無・小眼球症の統計的検討および染色体異常に関する調査結果について. 北陸先天異常研究会第6回学術集会, 1985, 12, 富山.

8) 松田健史, 森沢佐歳, 窪田靖夫, 窪田叔子ほか: Waardenburg 症候群の虹彩異常について一遺伝相談の2例より. 北陸先天異常研究会第6回学術集会, 1985, 12, 富山.

9) 山本文昭, 窪田靖夫: 衝動性眼球運動の二次元的解析—実験装置と実験方法について—. 昭和60年度日本臨床視覚電気生理学学会, 1985, 11, 倉敷.

10) Yasuhisa Nakamura: Orbital contrast techniques in the diagnosis of orbital involvement. 10th Congress of the Asia Pacific Academy of Ophthalmology, 1985, 2, Dehli.

11) 中村泰久, 尾崎真由美: 鼻涙管形成不全を伴った先天性外涙囊腫に対する手術経験. 第205回千葉眼科集談会, 1985, 3, 千葉.

12) 中村泰久: 霰粒腫の手術. 第27回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 6, 富山.

13) 中村泰久, 山下 泉: 眼瞼下垂に対する手術の後, 過矯正により重傷の角膜障害を来した症例について. 第39回北陸医学会形成外科分科会, 1985, 9, 福井.

14) Yasuhisa Nakamura: Osteoplastic orbitotomy for orbital surgery. International Symposium on Orbital disorders. 1985, 9, Amsterdam.

15) 中村泰久, 山下 泉: 眼瞼下垂術後の過矯正による重症角膜障害について. 第29回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 10, 富山.

16) 早見宏之, 中村泰久: 角膜輪部皮様脂肪腫の1例. 第28回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 9, 富山.

17) 山本千加子, 中村泰久: ステロイドホルモンが奏効した眼筋炎の1例. 第29回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 10, 富山.

18) 白井千威子, 中村泰久: Recklinghausen 病にみられた涙囊腫の1治療例. 第29回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 10, 富山.

19) 山田祐司: 硝子体手術における Fluid-gas exchange および Gas-silicone oil exchange の経験. 第12回富山眼科集談会, 1985, 5, 富山.

20) 名古屋良輔, 山田祐司, 中村泰久: 緑内障を合併した外傷によると思われる前房内硝子体脱. 第26

回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 4, 富山.

21) 開 繁義, 石田俊郎, 桶本忠司, 山田祐司, 中村泰久: 涙液成分の分析—涙液採取法との関連性—. 第12回富山眼科集談会, 1985, 5, 富山.

22) 開 繁義, 石田俊郎, 山田祐司, 中村泰久: 涙液内グルタチオン濃度を与える薬物点眼の影響. 第39回北陸医学会眼科分科会, 1985, 9, 福井.

23) 開 繁義, 石田俊郎, 山田祐司, 中村泰久: 薬物点眼による涙液グルタチオン濃度の変化. 第5回眼薬理研究会, 1985, 9, 名古屋.

24) 開 繁義, 石田俊郎, 山田祐司, 中村泰久: 角膜に対する薬物点眼の影響. 第4回金沢医科大学眼科研究会, 1985, 11, 金沢.

25) 開 繁義: 新しい点眼剤の開発と製造上の問題点・対策. 日本科学技術協会セミナー「新しい点眼剤の開発と副作用のコントロール」, 1985, 11, 東京.

26) 松原利行, 開 繁義, 萩野久美子, 堀越 勇: 塩酸ベフノロール点眼薬の家兎房水中アスコルビン酸濃度に対する影響. 第36回日本薬理学会北部会, 1985, 10, 仙台.

27) 山下 泉, 中村泰久: 穿刺吸引細胞診で診断した小児悪性リンパ腫の1例. 第3回眼腫瘍研究会, 1985, 9, 京都.

28) 山下 泉, 中村泰久: 眼瞼下垂術後の過矯正に伴う角膜障害. 眼の形成外科学会, 1985, 9, 新潟.

29) 山下 泉, 中村泰久: 眼瞼下垂術後の過矯正による重症角膜障害について. 第28回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 9, 富山.

30) 田畑 晃, 山下 泉, 山田祐司: Leber's congenital amaurosis とと思われる1例. 第12回富山眼科集談会, 1985, 5, 富山.

31) 白井千威子, 山下 泉, 山田祐司: 春季カタルにみられた角膜潰瘍の1例. 第2回福井眼科集談会, 1985, 8, 福井.

32) 石田俊郎, 開 繁義, 桶本忠司, 中村泰久: 静脈内に投与した抗生剤(塩酸セフトリアム)の涙液内濃度について—採取法による差異—第271回金沢眼科集談会, 1985, 4, 金沢.

33) 石田俊郎, 開 繁義, 桶本忠司, 山田祐司, 中村泰久: 涙液の採取法に関する研究. 第89回日本眼科学会総会, 1985, 5, 京都.

34) 石田俊郎, 堀やエ子, 石黒英世, 江本清和: 新生児に眼球突出を来した副鼻腔炎の1例. 第27回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 6, 富山.

35) 石田俊郎, 開 繁義, 山田祐司, 中村泰久: 点眼麻酔下で静脈内に投与した抗生剤 (CTM) の涙液内移行濃度. 第272回金沢眼科集談会, 1985, 7, 金沢.

36) 石田俊郎, 開 繁義, 山田祐司, 中村泰久: 静注した抗生剤 (CTM) の涙液内濃度におよぼす benoxinate 点眼の影響. 第5回眼薬理研究会, 1985, 9, 名古屋.

37) 石田俊郎, 開 繁義, 中村泰久: 静脈内に投与された抗生剤の涙液内出現経路について. 第273回金沢眼科集談会, 1985, 12, 金沢.

38) 大角智寿子, 山田祐司: 末期緑内障に対する Laser trabeculoplasty の経験. 第26回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 4, 富山.

39) 大角智寿子, 石田俊郎, 山田祐司, 窪田靖夫: 当科における過去6年間の眼内異物の統計. 第4回金沢医科大学眼科研究会, 1985, 11, 金沢.

40) 鍛冶兆宏, 大角智寿子, 田畑 晃: 最近経験した網膜中心動脈閉塞症. 第28回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 9, 富山.

41) 田中良則: 緑内障患者の臨床脳波学的研究. 第51回日本中部眼科学会, 1985, 11, 倉敷.

42) 田中良則, 桶本忠司, 山田成明: 当科緑内障外来における Laser Trabeculoplasty (LTP) の治療成績. 第13回富山眼科集談会, 1985, 12, 富山.

43) 桶本忠司, 浅香猶子: 保存療法により症状の消失した眼窩底骨折の1例. 第26回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 4, 富山.

44) 桶本忠司, 大角智寿子, 山田祐司: 角膜移植の統計. 第27回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 6, 富山.

45) 桶本忠司, 氷見由美子: 当科における外科視の手術成績について. 第13回富山眼科集談会, 1985, 12, 富山.

46) 尾崎真由美, 中村泰久, 石田俊郎: 富山医薬科大学眼科5年間の眼窩底骨折について. 第1回福井眼科集談会, 1985, 1, 福井.

47) 尾崎真由美, 中村泰久: 鼻涙管形成不全を伴った先天性外涙囊瘻の1例. 第12回富山眼科集談会, 1985, 5, 富山.

48) 尾崎真由美, 中村泰久: 眼窩壁骨折の臨床像. 第23回北日本眼科学会, 1985, 7, 札幌.

49) 尾崎真由美, 中村泰久: 眼窩壁骨折の手術適応基準について. 第39回日本臨床眼科学会, 1985, 9, 新潟.

50) 尾崎真由美, 中村泰久: 眼窩壁骨折のCT像. 第51回日本中部眼科学会, 1985, 11, 倉敷.

51) 尾崎真由美, 中村泰久: 4才女兒にみられた視神経炎の1例. 第13回富山眼科集談会, 1985, 12, 富山.

52) 山田成明, 中村泰久: 手術により症状を固定した Scleromalacia の1例. 第26回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 4, 富山.

53) 山田成明, 山下 泉, 中村泰久: 小児悪性リンパ腫の1例. 第12回富山眼科集談会, 1985, 5, 富山.

54) 山田成明, 山下 泉, 中村泰久: 副鼻腔粘液囊腫による視神経障害. 第27回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 6, 富山.

55) 山田成明, 山下 泉, 中村泰久, 岩井良成, 岡 伸夫: 眼窩内視神経障害を惹起した巨大副鼻腔粘液囊腫の1例. 第23回日本神経眼科学会, 1985, 10, 佐賀.

56) 中山昌子, 氷見由美子, 中村泰久: 内斜視の術後両眼視について. 第13回富山眼科集談会, 1985, 12, 富山.

耳鼻咽喉科学

教授	水越鉄理
助教授	渡辺行雄
講師	大橋直樹
講師	小林英人
助手	麻生伸夫
助手	吉田行夫
助手	大井秀哉
助手	浅井正嗣
助手	稲葉博司
助手	今村純一
助手	長崎孝敏
文部技官	武田精一

◆ 著 書

1) 水越鉄理: 突発性難聴. 「今日の治療方針」日野原重明, 他編, 731—732, 医学書院, 1985.

2) Watanabe Y., Ohi H., Sawa M., Ohashi N., Kobayashi H., and Mizukoshi K.: Clinical findings of the galvanic body sway test in cases with vestibular disorders, In Vestibular and Visual Control on Posture and Locomotor Equilibrium, by Igarashi M., Black O. (Ed.), 322—330, Karger Co. Basel, 1985.

3) 福田公子, 将積日出夫: 眼球振盪. 「遺伝性疾患への対応—その知識と実際—」, 大倉興司編,